

JSNだより

Life Life Life With Community

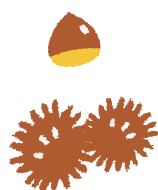
2025
No. 27
AUTUMN



Photo by 中澤 仁

Jin-i-kai-Sennenmura-Network dayori No.27

山々を彩る紅葉は、最高の贈りもの。
世も自然とあたたかく染まっています。



JSN取組発表会

五

活動報告

四

JSN夏祭り

三

新役職者紹介

中澤デイケアセンター
フォトギャラリー

二

永年勤続者紹介

一

仁医会部長

ごあいさつ

季節の健康献立

私たちは地域で求められる
医療・福祉サービスを実践し、
さらなる向上を目指します。

JSN

Life Life Life With Community

医療法人
仁医会

仁医会の
詳しくは



2025年度 永年勤続表彰者



勤続表彰
20年
あいちりハビリテーション病院
リハケア部フードサービス課
調理師

大嶋 紀幸

この度は永年勤続表彰ありがとうございます。長年仕事を続けてこられたのは周りの職員の方々の協力と理解、その他自分の知らないところで陰ながらフォローなどとして下さった皆様のおかげだと改めて感じております。重ねてお礼申し上げると共に、自分も誰かの力になれるよう努力していきたいと思っておりますので、これからもご指導のほどよろしくお願い致します。そしてこれからも安心安全な食事を提供できるよう、慣れに甘えることなく常に緊張感を忘れずにいこうと思っておりますので、宜しくお願い致します。



勤続表彰
20年
ファーマ中央薬局
事務職

三井 真由美

皆さま、こんにちは。ファーマ中央薬局の三井です。このたびは、永年勤続の表彰を賜り、心より御礼申し上げます。入職当時から変わることなく「少しでもお役に立てれば」という気持ちで日々の業務に向き合っていました。患者さまの笑顔や温かいお言葉が励みになり、仕事へのやりがいを感じています。多くの学びや出会いに恵まれて今日まで続けてこられたことを改めて実感しています。共に働く皆様、支えてくれる家族への感謝の思いを忘れず、これからも誠実に努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

ごあいさつ

老健彩りとして移転し、今年で3年を迎えました。この3年はコロナとの戦いでもありましたが、スタッフの皆さんの頑張りで何とか軌道に乗せることができてきました。ここで今一度、移転立ち上げスタッフで作成した、彩りの理念を思い返してみたいと思います。江原エリアのあいちりハビリテーション病院を「回復の丘」、老健を「彩りの丘」と位置付けました。

「彩りの丘」の意味・思いは、あいちりハビリテーション病院の回復の丘につながっていて、老健の様々な役割を彩りという言葉に込めました。

（自由）
・ライフスタイルを大切にしたい時間を過ごせる。
（絆）
・本人、家族、地域の方々、スタッフとのつながりを深め多様なニーズに応える。
（希望）
・自分らしく楽しみや目標を持って過ごせる。
（自由）（絆）（希望）を大切にしながら、「在宅復帰・療養・看取り」のケア・リハビリを提供したいと考えました。

今自分たちは出来ているだろうか。迷ったとき、困ったとき、立ち止まったときには理念を吟じてみましょう。

にしお老人保健施設 彩り
移転3年を迎えて



にしお老人保健施設 彩り
リハケア部 部長

石川 久江

仁医会 職員食人気メニュー紹介

仁医会の
健康献立!

果物のクラフティ(4人前)



料理長の健康一言

クラフティは、牛乳と卵をベースにした、なめらかなクリーム状の生地「アパレイコ」も、グラタン皿やタレ型に流し込み、オーブンでじっくりと焼き上げたフランスの伝統的なデザート。本来はチーズを入れる料理だそうだが、家庭にある果物であれば色々試してみてもどうだろうか。水気が多いと生地が水っぽくなるのでコンポートにすると良いです。流し入れる容器によって厚みが変わるので焼き加減は調整して下さい。普段職員食では冷やした状態で提供ですが、温かい状態ではつつつ食感と香りが楽しめます。是非、ご家族と楽しみながら作ってみて下さい。

栄養量(1人分)

98kcal

たんぱく質 1.9g
脂質 3.6g

食物繊維 0.4g
塩分 0.0g

作り方

- ①ボウルに鶏卵、砂糖、生クリーム、牛乳、ヨーグルトを入れてよくかき混ぜる。
- ②小麦粉をダマにならないようにふるいに掛けて混ぜ合わせる。
- ③黄桃は水気をきり②に入れ、耐熱容器にキッチンペーパーを敷き流し入れる。
- ④180℃に温めたオーブンで20分加熱。
※焼き色がついて、竹串などを通して何もついてこなければOK。
- ⑤粗熱が取れたらラップをして冷蔵庫で冷やしカットして完成。

材料

鶏卵 30g(1/2個)
砂糖 25g
生クリーム 20ml
牛乳 40ml
ヨーグルト 25g
小麦粉 17g
缶(黄桃) 80g

勤続15年表彰
山本 雅史(理学療法士)
鈴木 雅史(理学療法士)
東 昇(理学療法士)
杉本 香(准看護師)
岡田 由美子(看護師)
森 幸子(調理補助)
藤田 利果子(理学療法士)
渡邊 希代香(看護師)
石川 美佳(介護福祉士)
向原 道子(事務職)

勤続20年表彰
三井 真由美(事務職)
大嶋 紀幸(調理師)
小林 富士代(准看護師)
小椋 貴子(事務職)
伴 文子(調理師)

勤続25年表彰
太田 たまえ(准看護師)
木俣 孝章(看護師)

勤続30年表彰
近藤 哲也(介護福祉士)

勤続35年表彰
石川 久江(看護師)
大村 玄子(事務職)

勤続10年表彰

斎藤 優樹(理学療法士)
稲垣 利洋(作業療法士)
菊池 真理(言語聴覚士)
中澤 健(調理補助)
久保 雅樹(事務職)
柴川 仁美(調理補助)

井上 加奈子(言語聴覚士)
小林 佳代(訪問看護師)
鈴木 奈緒美(訪問介護員)
宮地 徳子(保育士)
日高 たえみ(調理補助)
石川 健太郎(理学療法士)
山本 由梨(事務職)
郡司 孝仁(薬剤師)
杉江 友一(作業療法士)
木村 裕貴(理学療法士)
山内 貴(理学療法士)
黒野 淳(理学療法士)
澤田 直哉(理学療法士)
藤田 幹人(理学療法士)
加勢 啓佑(理学療法士)
上田 真奈(事務職)
吉野 悠平(介護福祉士)
酒井 沙綾(作業療法士)

皆さま、
永年勤続
おめでとうございます!



Jinikai-Sennenmura-Network

JSN祭り

2025

Life Life Life with Community

つながる笑顔に、
ありがとうを込めて。

今年名称を改め、祭りを開催しました。

JSN祭りの紹介



イベントは子供達のダンスから始まり、盆踊りや和太鼓の演奏も行い、ご利用者の笑顔もいつも以上に輝いていました。出店では、今年もキッチンカーにご協力頂き、ご来場頂いた方々に楽しんで頂けたと思います。また、祭りの最後を締めくくる打ち上げ花火も上げさせて頂きました。



猛暑が続く日々の中、昨年大好評であった夏の祭りを今年は9月14日(日)に時期を少しずらして開催することができました。西尾市長も祭りに参加され、地域の方々や学校からもご協力頂き、盛大に祭りを盛り上げることができました。

まだまだ残暑厳しい中ではありますが、ご利用者のご家族の和気あいあいとした時間を提供できたのではと思っております。ご協力頂いた方々、有難うございました。来年のJSN祭りも楽しみにして下さい。



にしお老人保健施設 彩りリハケア部 副部長、看護師
有馬 真理子

この度、老健リハケア部の副部長を務めることになりました有馬です。ユーモアある看護をモットーに25年間、急性期や老健、回復期、訪問、通所と幅広く経験してきました。その経験を活かしながら、リハケア部の魅力をもっと引き出し、ご利用者や地域の皆さん、そして一緒に働く仲間たちに「ここでよかった」と感じてもらえる職場を、楽しみながら創っていききたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



にしお老人保健施設 彩りリハケア部 けやき課主任 理学療法士
川村 優貴

この度、老健けやき課の主任を拝命いたしました、理学療法士の川村です。老健におけるリハビリの役割は益々大きくなり、ご利用者の在宅復帰や生活の質の向上において、重要な役割を担っています。その中で、リハビリ職だけでなく、看護・介護・相談員など、多職種での協力・連携が何よりも大切だと感じます。チーム全体が気持ちよく働ける環境作りと、多職種が連携しやすい体制を整える事に力を入れたと思います。今後とも宜しくお願いいたします。



にしお老人保健施設 彩りけやき課 主任 介護福祉士
松田 雄一郎

にしお老人保健施設 彩りにて主任を拝命いたしました、松田雄一郎と申します。ご利用者一人ひとりに寄り添い、質の高いケアと、安心して生活いただける環境づくりに努めております。在宅復帰後の生活まで見据えた支援を心がけ、スムーズな在宅移行を目指しております。ご利用者にとっても、スタッフにとっても、より良い環境づくりができるよう、日々尽力してまいります。

いっしょ！
いきいき！

チャレンジ！

中澤デイケア フォトギャラリー

中澤デイケアセンター

活動の様子

JSN取組発表会



様々な取り組みが発表されました

9月7日(日)矢田わくわくこども園にて第8回JSN取組発表会が開催されました。

「各職場にある小さな取り組みにスポットライトを当てる」という主旨に基づき業務改善・ご利用者支援・自己研鑽等多岐にわたり、会場発表16題、事前収録7題の発表がありました。



お掃除チーム 「ピカピカせんねん隊」の取組み

【せんねん村総務部 ピカピカせんねん隊】

昨年4月、障害者で構成するお掃除チームを立ち上げました。部署の管理を任命されてから早1年。障害者支援の知識や経験も無く、多くの問題に日々四苦八苦しながら対応しています。発表者は、部署長と障害当事者です。

障害メンバーの共通テーマは
・標準作業(決められたことを)を守る
・掃除のQCDS

(よりきれいに・効率よく・時間通り・安全に)を実践できるようになることです。

障害者には難しい課題で、成長速度は超スローですが、協力して挑戦しています。メンバーそれぞれが抱く目標に向かって取組み続けます。



車椅子座位を快適に 体験することで見える世界

【あいちリハ リハケア部 さわにこ課】

車椅子姿勢が崩れている患者様に「また崩れるな」「直してもすぐ崩れる」といった認識をなくしたいとの思いで、まずはスタッフの意識改革の為、車椅子での不良姿勢体験を実施しました。全職種の職員に患者様の苦痛を体験してもらうことで座り直しや姿勢修正への意識向上を図ることができ、さらに患者様に対してタイマーを使用し、定時での座り直し、姿勢修正を行ない、車椅子座位での生活の質を高める取り組みを報告しました。



『まちかど健康チェック』 地域との繋がり

【(医)仁医会地域支援部 地域包括支援センター】

現在担当地域には、自宅から歩いて通える『まちの体操教室』や『通いの場』が多数存在し、地域に根付いて高齢者の介護予防・通いの場として定着しています。そこで、今年度より事業の見直しを行い、地域住民で作り上げた介護予防の場を大事にして、専門職による健康講話や健康相談を主とした『まちかど健康チェック』を実施することにしました。地域のか・地域との繋がりを大切にしてい取り組んだ一例を報告しました。



～接遇を通して地域に信頼される “なかざわさん”を目指す～

【(医)仁医会なかざわ記念クリニック 診療課】

昨年度、患者様に適した接遇・環境を見直すために、クリニック診療課・医事課全体で部署の枠を超えたクリニックラウンドを実施しました。今年度は、接遇における“6つの視点”を整理し、接遇面を重視したクリニックラウンドを行いました。

良い接遇が“意識するもの”から“無意識化”され、患者様が来院しやすい・居心地のよいクリニックをめざすために取り組んだことについて報告しました。



せんねん村のケアプランセンターの合併 ～とほほ合併日記～

【せんねん村在宅部 ケアプランセンター矢曾根】

令和7年4月より、せんねん村のケアプランセンター2事業所が合併し、スタートしました。合併の話が出たのは令和6年1月。そこから合併するまでに、全く知識もなく、皆の交錯する思いの中、紆余曲折あった過程と、結果、そして合併後の新たに発生した問題への対処と、新しく取り組み始めた試みを報告しました。



素晴らしい発表が続きました
皆様、お疲れ様でした



来年度も開催予定です

皆様のお力添えのおかげで、今回の取組発表会も無事に終わることができました。ご参加・ご協力くださった皆様に、心よりお礼を申し上げます。来年度も引き続き開催を予定しております。この場から生まれた気づきや学びを、皆様に少しでも還元できるよう、スタッフ一層努力してまいります。今後とも変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

『訪問部の再編 ～三位一体の取り組み～』

【(医)仁医会訪問部 在宅介護課・看護課・リハビリ課】

2024年4月「訪問部」における「在宅介護課」「在宅看護課」「在宅リハビリ課」の各課がこれまで以上に連携の強化、及び在宅サービスの質の向上を目的に、“三位一体”をコンセプトとした組織再編が成されました。地域に求められる在宅サービスをより充実実践すべく新たな取り組みが始動しました。これまでの各課の運営、及び地域における活動を紹介するとともに、新生訪問部における取り組み、及び今後の展望等について報告しました。



“やりたい”の声に耳を傾けて

【せんねん村介護部 菜の花・菖蒲・茜】

お祭りや行事をようやく再開できるようになった今年度、村人様・職員の「やりたい!」「いきたい!」「いってみたい!」の声に耳を傾け、実現に向けて始動開始!!

大切にしてきたのは「できるかな?」ではなく「どうしたらできるか?」

イベントやサークル活動に力を注いだ中から見つけたたくさんの“笑顔・喜び・気づき”の数々を紹介しました。



JSNだより

Life Life Life With Community

2025
No. 27
AUTUMN

Jin-i-kai-Sennenmura-Network dayori No.27



月明かりに照らされる秋の夜は、
言葉を超えて心を通わせるひととき。



- 1 特別養護老人ホームせんねん村施設長 ごあいさつ
せんねん村風の盆
ご紹介
- 2 平口特養の特浴室をリニューアルしました！
- 3 おべんとう販売始めました！
事業所紹介 相談支援事業所ぴあ
- 4 活動紹介『ぴんしゃんクラブ』
活動報告
- 5 JSN取組発表会



こころのびのび からだいきいき いのちきらきら
【大切にします あなたの個性】
『今日も1日良い日でした、と言っていたかのように』



社会福祉法人
せんねん村

せんねん村の
詳しくは





令和の米騒動に際して考えたこと



暦の上では10月ですが、まだまだ暑い日が続いております。皆さまお変わりはありませんでしょうか。

平成の米不足を機に備蓄制度が整えられましたが、100万トンの米を保管するために年間478億円もの費用がかかっていると知り、驚きを隠せませんでした。減反政策により米作りが抑制され、保管された米が最終的に飼料になるという構造には、持続可能性の観点から疑問を感じます。今回起きた令和の米騒動を通じて、私は米の農業政策のいびつさに改めて目を向けることになりました。

また、米は「八十八の手間」がかかるとも言われ、日々の食卓に並ぶご飯は、『当たり前である』ようにしてくださった農家の皆さまの努力の結晶です。それがあってこそ、私たちは安心して食事を楽しむことができるのです。単なる食料問題にとどまらず、私たちの暮らしの身近にある「当たり前のありがたさ」を見つめ直すきっかけとなりました。

身近なものに目を向け、感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思います。



特別養護老人ホームせんねん村
施設長 阪部 寿子



せんねん一枚

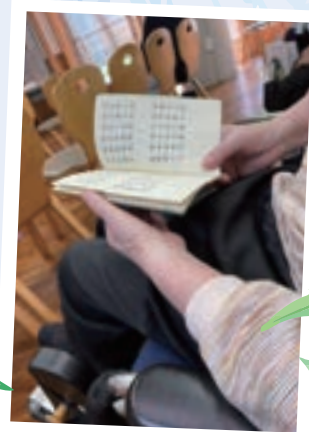
せんねん村 風の盆

8月6日(水)、矢曽根・平口の特養で行われました。せんねん村では亡くなられることを「風になる」といいます。

病気や怪我など全ての苦痛から解放され、風のように自由になるという意味があります。

当日は養寿寺のご住職が来所されてお経をあげていただきました。

参加されたご家族や村人さん皆さまにご焼香をしていただき、風になられた村人さんとの思い出を偲び、感謝の気持ちを伝えました。



泡シャワーを導入!

POINT



POINT



扇風機もついてより快適になりました!

泡で出る!

改装前

QUESTION



特浴(特殊浴槽)とは…

寝たままでも安全かつ快適に入浴ができるお風呂です。村人さんの体調や姿勢を見てリフトやストレッチャー(寝台)を使いながら浴槽に移動し、無理のない状態でご入浴いただけます。

平口特養の特浴室をリニューアルしました!

6月中旬より、特浴室の工事が始まり、8月26日に完成を迎えました。暑い中、工事をしていただいた業者の方々に感謝です。

今までの特浴室には大きな浴槽が1台設置してありました。個々に合わせた温度調節が難しく、お湯をためるのにも時間がかかり、お一人ずつ新しいお湯に入れ替えての入浴が困難で、時にシャワー浴のみになってしまうこともありました。

リニューアルした特浴室には、以前よりコンパクトな浴槽が2台置かれています。1つの浴槽で入浴していただきながら、もう1つの浴槽で次の村人さんの準備ができます。お湯の量や温度が簡単に調節可能で、それぞれの村人さんのお好みに合わせてスムーズに対応できます。

より快適に入浴をしていただけるよう、泡シャワーも取り入れました。温かく柔らかいボディーソープの泡を作り出すことができる装置です。全身を20秒ほどで包み込み、きめ細かい泡が汚れを吸収して、こすり洗いをすることなくお肌に負担をかけずに優しく清潔を保てます。

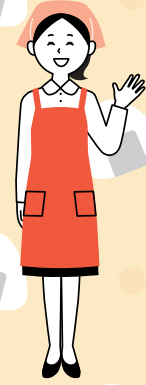
浴室の壁は木から、水弾きが良くカビや汚れが付きにくい木目調の新素材に変えました。

新しくなったお風呂で“こころのびのび からだいきいき”とリラックスしていただけるよう職員一同お手伝いしていきます。



活動紹介

『ぴんしゃんクラブ』



このたび、矢曽根フードサービス部では食品営業許可を取得し、お弁当販売をスタートいたしました。もともと社内では職員用に提供していたお弁当は、一味よし・彩りよし・栄養バランスもバッチリ」と好評でしたが、より多くの方に手に取っていただくことで職員のモチベーションアップにもつなげていきたいと、外部販売にもチャレンジすることになりました。



お弁当販売をはじめました



初回販売では、用意した50食があつという間に完売。これから月1回のペースで販売を継続する予定です。

今後も健康的で美味しい
お弁当を通じて、地域の皆さ
まとのつながりを深めてい
きたいと考えています。



事業所紹介

『相談支援事業所ぴあ』

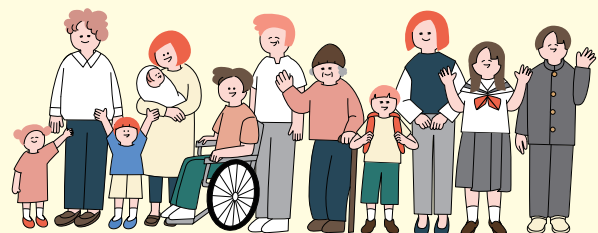
相談支援事業所ぴあではサービス等利用計画・障害児支援利用計画を作成します。

主に幼児期、学齢期の子どもの相談に対応しておりますが、成人期の方には必要に応じて適切な関係機関にお継ぎします。当事者の感じていることのできる限り寄り添い、幸せに暮らすためのお手伝いをいたします。

事業所名の「ぴあ」には、同じ立場にはなれなくても、同じ社会で生きる仲間として支え、問題の解決方法を共に考える姿勢を心がけていきたいという想いを込めました。



予約制です。
お電話はこちらまで。
TEL：0563-65-2622



障害があっても安心して暮らせる社会にするために、福祉サービスだけではなく、様々な人とのつながりを持ち、ご理解ご協力を得ていきたいと思っています。



クラブ名には「身体がびんぴん元気に」「気持ちをしゅんと前向きに」という願いが込められています。活動のきっかけは、ある村人さんの「暇だなあ」という一言です。認知症が進行すると、転倒や食事困難などのリスクが高まるため、運動だけでなく認知機能へのアプローチが必要だと感じ、体操と脳トレを組み合わせた30分のプログラムを始めました。

活動を通じて、村人さんそれぞれの個性や課題が見えてきました。計算が苦手な理由も様々で、視力や文字を書くことが困難などといった背景を理解することで、寄り添った支援が可能になります。名前を書く練習も、回数を重ねることに上達し、小さな変化が大きな喜びに。最初は消極的だった方も、皆で行うことで自然と参加されるようになりました。毎回楽しみに待っていてくださり、「もっとやってほしい」「次はいつ来るの?」という言葉をいただくと、「やっていてよかった」と心から思います。



集团
本操



脳トレ



活動開始から約1年が経ちました。目に見える成果はまだ少ないものの、心身の衰えを少しでも緩やかにできたという思いで続けています。ある村人さんは脳トレは難しくなりましたが、「体操には声をかけて」と今も参加中。無理に何をさせるのではなく、「できること」を認め、そっと声をかけることが私たちの役割です。

今後は、村人さんの変化を記録できる表を作成し、よりきめ細やかな支援を目指していきます。日常生活の中に楽しみがプラスされ、さらに認知機能の維持、ＡＤＬの維持向上の助けになれたらいいと考えます。「継続は力なり」を胸に、これからも活動を続けていきたいと思います。



ゲーム

